

編集後記

機関誌『陽明学』第十四号（劉念台特集号）をお届けする。

この号、巻頭には防衛大教授、水野氏の玉稿を頂戴することができた。感謝に堪えない。二本目、本学舎理事、三島氏の論考は、五月二六日開催の三島中洲研究会におけるご報告を纏められたもの、三本目、本学大学院後期在籍の石原氏のは、同氏一連の孟子解釈史研究成果の一端である。

特集に移って、一本目、東方朔氏のは、正田啓佑氏（本研究所客員研究員・福岡女子大学教授）のご紹介による。続く、福岡女学院大学教授の難波氏、京都府立大学助教授の中氏の両篇ともども、特集の名に相応しい内容を揃え得たものと思う。なお、本号より、研究所活動の一環として続けてきた輪読会の成果を分載すること

とした。ご批評賜らば幸甚である。

「紹介と短評」・「陽明学だより」の欄、ともに本号も正田氏に全面的にお世話になった。東方朔氏の論考訳出に費やされたご労苦も併せて、深甚の謝意を表する。

この年度の研究所主催の講演会は、春季、学習院大学教授、馬淵昌也氏「陽明学発微」、秋季、無窮会専門図書館長、濱久雄氏「三島雷堂先生の人となり」と陸王哲学」、ともに盛会であった。

本研究所は、千代田校舎建替えのため、この四月より二年間、柏市に隣接する沼南キャンパスに移る。また、この六年間、研究所を預ってきた松川は三月で定年により退く。在任中賜わったご芳情に感謝するとともに、新しい体制への大方のお力添えを懇請して已まぬ。

次号は、林良斎特集ということで準備を進めている。ご期待を乞う。

（松川）

陽明学（年一回発行）

第十四号

平成十四年三月三十一日

定価 本体一〇〇〇円＋税

送料 二四〇円

編集責任者

松川健二

発行責任者

山田安之

発行所

二松学舎大学陽明学研究所

東京都千代田区三番町六一六

郵便番号 一〇一八三三六

電話 〇三―三三六―七四三八

発売所

株式会社 明德出版社

東京都新宿区新小川町八一二六

郵便番号 一六二一〇八一四

電話 〇三―三三六―四〇一

FAX 〇三―三三六―四〇三

振替 〇〇一九〇―七五八六三四